



# 山本りゅう

ROUTE 前橋 市政継続

市民サービスにはお金が必要です。私はやりくり(無駄を減、税収を増、民間活力)をしながら、市民負担を増やさず、暮らしを支え、健康を守り、経済を回す投資を行ってきました。

責任をもって市行政のリーダーとして全国的にトップレベルの前橋の「生きやすさ」をさらに伸ばして行きます。

私は「公平な心」「決断」「スピード」をもち 2020マニフェスト”を実現します。

## 約束

### 高校生までの医療費無料化を決定

**予算額** (ごみの減量によって生み出した3億円から充当します)  
**2億円** 学校の部活での怪我や病気、高校生の医療費を応援していきます。

### 幼稚園、保育園、子ども園に運営支援員の配置

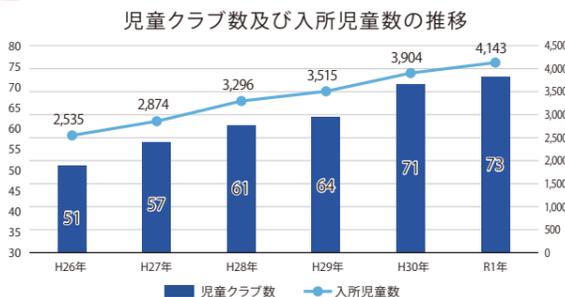
**予算額** (国の補助75百万と子育て無償化で浮いた財源を充当します)  
**1.5億円** さまざまな業務が保育の現場に集中しています。保育士や幼稚園教諭の不足は深刻で施設の入園定員も、未満児保育もスタッフ不足で出来ない状況です。保育現場の環境改善が急務です。

### 学童保育6年生まで拡大中。働くお母(父)さんも安心

## 出来ました

### 病児病後児の預けられる施設も4カ所目が完成

私の任期の間で学童クラブを頑張って増やしてきました。働くお父さんやお母さんの応援になるからです。今では99%の小学生が6年生まで通えるまでになりました。インフルエンザでも預けられる施設も市内に増やしていきます。



## 報告

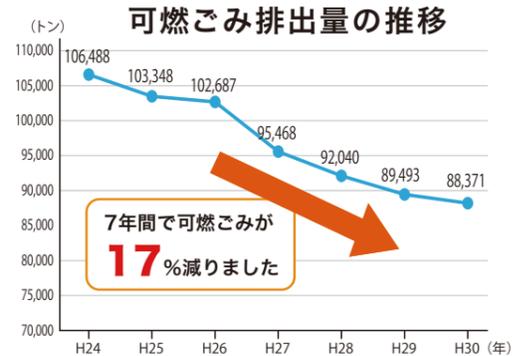
### やりくりを続け 国からの借金を減らし、健全財政になりました



## 御礼

### ゴミが減少！延命化修理で六供清掃工場は25年間大丈夫です！

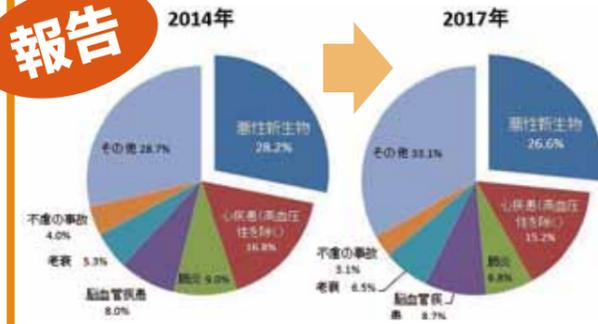
ゴミは減らすのは市長の責任です。今後も市民のゴミ分別や減量をお願いし、古紙・古着・ペットボトルなどの集団回収への奨励を進めます。下増田サッカー場は残せません。しかも、2炉の廃止で貴重な財源3億円が生まれました。



大胡 亀泉が廃止。浮いた財源は **毎年 3億円**

### がん検診受診率が第1位(指定都市・中核市)になりました。

## 報告



私の市長就任からがん検診の無料化を実施し、検診⇒早期発見⇒早期治療を呼び掛けてきました。その結果、受診率の増加と同時に死因に占めるがんの割合が少しずつ減少しています。**病気が減れば、国保料に引き下げも可能です。**

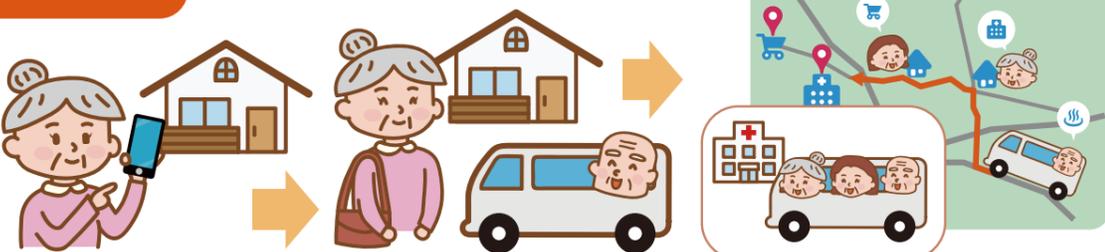
## 約束

### 若者の結婚の出会いと働く場を作ります

- 市役所が運営する無料の結婚相談センターをスタート
- 新産業団地を造成し産業誘致します。(西善中内、南部、清里、宮城、既存団地拡張など)
- 事業所税の還元制度の創設で企業経営を支援します
- デリカ産業の食物残差の減量化やリサイクルを支援します
- 小口資金における信用保証料の全額補助期間を延長します
- 高齢農家への補助や6次産業化を応援(前橋の逸品)します
- 農業用施設への償却資産税を減免します

2022年に実現!

## マイタクで買物も通院も安心



マイタクを前橋市内全体でもっと利用してほしい。そのためにはマイタクや様々な交通を組み合わせる自宅から目的地まで運べる仕組みを作ります。ボタンを押すだけで迎えが来る仕組みを2022年までに構築します。前橋は政府からモデル都市に指定されています。



## ■宮城千本桜公園の整備着々

日本中の桜名所がある市町村長が集まった全国桜サミットの開催ではお世話になりました。それから千本桜公園の段階的整備を始めました。またキャンプ場への貸し出しなども行いました。これからも桜公園のさまざまな利用提案を待っています。観光客が使えるトイレに整備にも取り組みます。



## ■阿久沢家の整備も

全国桜サミットでは、会場に訪れた全国のお客様を阿久沢家にてお茶でお持て成したり、子ども達へのそば打ち体験など、いろいろな行事に活用させていただきました。建物や駐車場の整備など進めていきます。

## ■宮城の青年が富士見で民泊に頑張っています。

二人は将来、富士見の古民家民泊で経験を積み、ふるさと宮城で古民家を借りて民泊を経営したいと励んでいます。こんな挑戦を応援しています。



## ■波志江IC接続により工場団地へ!

苗ヶ島飯土井線が北関東自動車道まで延伸。波志江インターへまっすぐにつながります。この道が完成すると宮城・粕川・大胡へのアクセスが便利になります。

そこで★印(左下地図参照)大前田に20ヘクタールの工業団地を開発方針決定しました!

## ■献穀粟

宮城の農業は農業都市まえばしの宝です。70年も続く献穀粟の伝統は宮城の農業と赤城山スローシティのシンボルです。皇室へ献上した粟を宮城の学校給食で子供に食べてもらいました。地域の伝統を感じてほしいと思います。



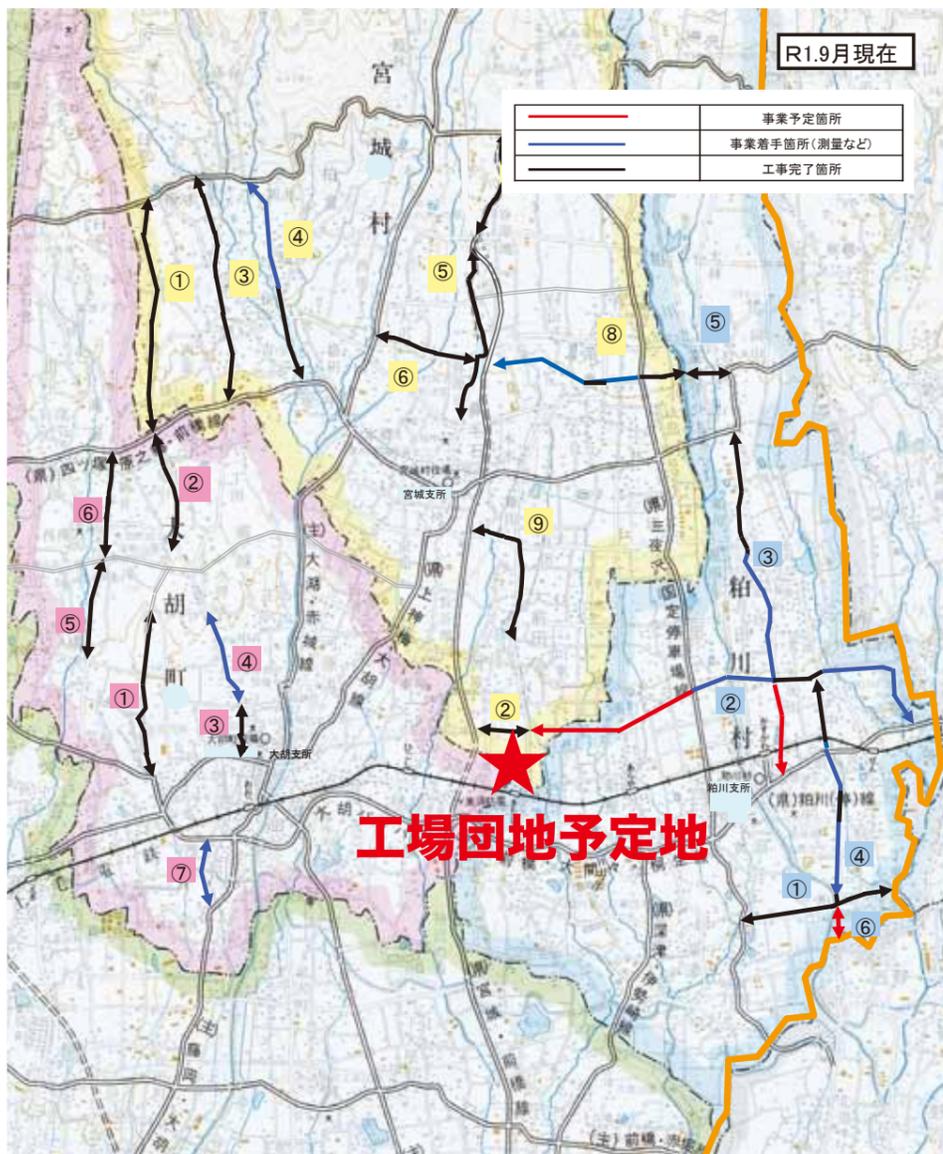
## ■豚コレラ

- ★知事に豚コレラのワクチン接種を要望しました。ワクチンも知事の判断で開始できました。来年春までかかると予想された接種も年内に終了できそうです。しかし防疫はこれからも継続していきましょう!
- ★柵の設置を国と県と前橋市で全額負担することになりました(非課税)。
- ★農業施設の償却資産税も農家支援の形で還元します。



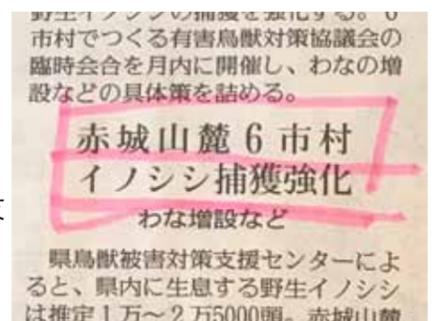
## ■新市建設計画

宮城・粕川・大胡の合併の時の約束した道路の取り組みです。特に宮城地区は関係者の協力のおかげで順調に道路が出来ています。残りの未完成区間も目途が立っています。



## ■イノシシ駆除はじまる!

有害鳥獣駆除へ赤城山麓の自治体(桐生・みどり・渋川・沼田・昭和・前橋)が協力して駆除を行います。山頂付近の禁猟区での駆除も認められました。家畜伝染病の防疫と農産物被害対策を合わせ、この体制で猟友会の方々と連携して取り組みます。



## ■食と観光を発信中!

宮城の観光は農業の美味しさを感じながら赤城の自然と温泉を楽しみ、神社仏閣の歴史を知ることが大きな魅力です。足立区の少年キャンプや農業体験ツアー、自転車などのアウトドアをスローシティ赤城として発信していきましょう。



山本りゅう 後援会事務所

〒379-2166 前橋市野中町386

電話番号: 027 226-5803 FAX番号: 027-226-5812